

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和元年6月11日(火)  
14:00~16:00  
場所 浜田市立今福小学校  
対象 6年生児童10名  
指導者 担任  
埋蔵文化財センター職員2名

1. 主題 縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食作り体験～

2. ねらい

- 古代の人々の生活の様子に関心をもつ。
- 古代食作りの体験を通して、古代人の食生活について知り、古代人の生活への理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
5分	○今日の学習の流れを確認しよう	・講師の紹介をする。 ・学習のねらいと内容を説明する。	担任
15分	○縄文時代や弥生時代の人々の生活について知ろう(教室) ・縄文、弥生時代が今からどれくらい前の時代か確認する。 ・どのような食べ物を食べていたのかを知る。	・パワーポイントなどの視覚的教材を使って児童の興味・関心を高める。	職員
10分	休憩、教室移動	エプロンを着て移動	
55分	○古代食作りに挑戦しよう(家庭科室) ・赤米の炊飯(土器3つ 1合ずつ炊く) ・どんぐりのハンバーグ作り	・3つの班(3人、3人、4人)に分かれて活動する。 ・古代食の炊飯方法、どんぐりハンバーグの作り方について説明する。 ・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。	職員 職員・担任
15分	○古代食を試食しよう(家庭科室)		
15分	片付け、教室移動		
5分	○感想を交流しよう		

※ 準備する物

- (学校) パソコン、プロジェクター(電子黒板)、調理器具、食器、食材(生もの)  
(児童) エプロン、マスク、筆記用具  
(埋文センター) 食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、アンケート用紙等